**故・松坂たかよし君を偲んで　　　　　　　　　　　　　　　平成３０年６月**

**時習館高校１１回生卒業５０周年記念事業実行委員長　鈴木八成**

**今年３月末に、ある人を介して松坂君の訃報に接した。但しこれはご家族のご希望で内密にとのことであった。それから早や２か月が過ぎ去った。**

**彼はここ数年入退院を繰り返していた。退院するたびに経過は順調、もう少し体力が戻ったら、かねてからの約束であった「ハゼ釣りに一緒に・・」と言っていたが、実現できずに旅立ってしまった。誠に残念、無念である！**

**彼は、母校時習館高校の歴史に新しいページを創った。それは私たちの卒業５０周年記念事業において「イギリスとの交換留学」の贈呈である。贈呈事業の提案、難航した事業日程及び内容の調整・決定は、彼がいなければ出来ず、また彼の英知とイギリスとの人脈、及び尽力が無ければ実現できなかった。**

**それまでは、わが母校時習館高校は一地方の、有力な県立高校でしかなかった。しかし、贈呈した交換留学を機に、時習館高校に国際化への芽生えが起こった。**

**時習館高校自身の積極的な取り組みと、同窓会の全面的（資金援助とも）なバックアップ及びＰＴＡの理解と資金援助で、この国際化（姉妹校提携など）が大きく進展している。**

**その事業が基となり「スーパーサイエンスハイスクール（ＳＳＨ）」の文科省の予算認定を受け、愛知県内有力校を傘下に約６０名の高校生と教師をイギリスへ派遣、現地有力校との研究成果を討論するなど、県下全体に大きな影響を与える存在となっている。**

**また、文科省内でも注目される位置づけとなっており、全国的にも注目され視察が相次ぐと聞く。**

**一方、国際姉妹校提携も進み、イギリスのセントポールズ校、同ガールズ校、ドイツのオット・フォン・タウべ・ギムナジューム校、新しくマレーシアのジッ・シン校と各国トップクラス校と姉妹校提携を既に結び益々拡大しそうである。**

**この国際化が、時習館高校の制服の変更にもつながった。男子はガクランからスーツ・ネクタイへと女子も一新されたのである。**

**時習館高校が先陣を切り県内有力校が続々とイギリスなどと姉妹校提携を結んでいる。**

**また、我々の事業贈呈により、同窓会のヨーロッパ支部がフランスに設立された。**

**即ち、母校に与えたこれらの影響は、松坂君なくしては出来なかったのであり、前述の時習館高校の国際化の端緒は開かれなかったのである。**

**私たち１１回生は、彼の温厚な人柄と、物事を成し遂げようとする強い意志と、その実行力に敬意を表すと同時に、この母校時習館高校の新しい歴史のスタートを切ったその事業贈呈の中心的な役割を果たしていただいた松坂たかよし君に、心からの感謝と哀悼の意を表し、「ご冥福を」１１回生を代表し、お祈り申し上げます。**

**「松坂たかよし君、あなたは今はもう居ない、しかしあなたの残された母校への新しいページはこれからも発展し、後輩たちに大きな良き影響を与えていくことを確信する。松坂たかよし君、本当にありがとうございました！」**